

170	先生の頑張りが生徒の未来を変られる！！生徒の将来を変えるのも先生次第！！	香芝市	40 歳
171	僕は仕事で失敗しても怒りはしないよ、だって人は失敗をして成長していくから。でも人として間違ったことをしてしまったときは、声を荒げてでも怒らなければならないと思う。	天理市	31 歳
172	私が本格的に部活動を経験したのは、大学へ入ってからである。それまでほとんどスポーツと縁のなかった私でしたが、一回生の四月、何気なくバレーボール部のBOXを訪ね、入部させてもらった。動機は単純で、身長が少しでも伸びるだろうと思ったことと、甘ったれの自分を厳しく鍛えてやろうと思ったからである。四年間の部活動生活をなんとか、やり遂げることが出来たのは、私自身の努力もさることながら、スパイクやパス、レシーブさえも満足に出来なかった私に、手取り足取り指導してくれた先輩や仲間があったことを忘れることができない。毎日の練習は、小柄な私にとって正直なところ苦しいものだった。あれは二回生の秋だったと思う。退部を願い出たことがあった。体育科でなかった私は、教科の講義と練習時間とがぶつかって、時々練習を欠席するか、講義を欠席するかしなければならなかった。指導教官にも相談した。「あなたは、この際退部しなさい。」と助言され、悩みつつ部会で退部届を出した。このとき私のような悩みは、四年間の長い月日の中で、誰もが一度は経験するものであることを知り「心配せずに、講義に出よ」との温かい先輩の言葉に感激して、再び部活動続ける決心をしたのだった。とりとめのない想い出について紙面を費やしてしまったが、四年間の部活動生活、苦しんだり、悩んだり、先輩や仲間励まされたりとの連続だったが、正真正銘、体を張ってやり遂げたことを何よりも私は誇りに思っている。	奈良市	60 歳
173	中・高時代の国語のY先生は、俳句や短歌の授業も興味を惹きつけられるものがあったのですが、口癖のように言っておられたのが「如の心」という言葉です。人生を豊かにするのはお金や名誉や肩書きなどでは決してなくて、自分が苦しい・辛い時でも、人に対する思いやり(=如の心)を忘れないことが大切だ。その姿勢が自身に返ってくる、という教えであったように思います。自分も、卒業生にメッセージを贈るときに、「人生は 笑顔と ひたむきさと 思いやりのある心」と書いています。時間はかなり経っていますが、今でも自分の心に先生の言葉を留めて、実践に努めています。	大和高田市	66 歳
174	昭和60年、本校に初任者教員として赴任しました。当時の分掌は、生徒指導部でした。ここには個性豊かな先生方がたくさんおられました。いろいろなことを教わり、勉強の毎日でした。その先生方はみな、部活動も熱心でした。野球部、バレーボール部、弓道部、柔道部等で毎日、汗を流しながら、生徒を指導されていました。その後、県内の高等学校で教鞭をとられ、最終的には皆さん管理職(校長)になられました。しかし、不思議なことに誰一人本校の校長になられた方はいませんでした。そして、令和3年、私が最後の校長として着任しました。令和5年には創立100周年を迎えます。	宇陀市	59 歳
175	「絶対に良い卒業式にできる。想像できるもん。」 5年生を持った学年を持ち上がるか持ち上がらないか悩んでいた時に校長先生に言っていた言葉です。結局、持ち上がることになり良い卒業式にできました。そうできたのも校長先生からの心強いお言葉があってこそだったと今は思っています。	奈良市	30 歳
176	小学校の5.6年の担任の先生 長期休みの度に、クラスの子ども達をキャンプに連れて行ってくれました。	奈良市	57 歳
177	中学時代の英語の先生。娘さんの誕生日は私と一緒に、先生は最初私と同じ名前にするつもりだったそうです。	生駒市	34 歳
178	小学校6年生の時、市の健康優良児として全校朝礼で表彰してもらいましたが、賞状の受け取り方が間違っていたと、自教室に帰ってから担任の先生から再度やり直されました。自分の中で何か悔しくて、涙を流したことを今でも覚えています。厳しい先生でありましたが、厳しさの中に子供を思う温かみがある先生でした。教員として教壇に立ったのも、その担任の先生のような人になりたいとの思いが強かったと思います！	退職	63 歳
179	自信もなく不安だらけの新米教員時代。いつも心の中はどうしようどうしようと焦っていました。そんなとき、指導教官に「任せとくわな」と言われ、とても粹に感じ嬉しかったのを覚えています。その先生とは、今もゴルフやお食事と一緒にさせて頂いています。	広陵町	37 歳

180	小学生の時の校長先生。運動場の高鉄棒で、若い先生と一緒に大車輪の技をされていて、みんな驚きました。その校長先生は、全校のほとんどの児童の名前を覚えておられて、廊下などで出会うと名前を呼んで話しかけてくださいました。他にも、一番高い木の上まで木登りできたら、校長先生から賞状がもらえたり、朝の体操クラブで指導して下さったり。みんな校長先生が大好きでした。	奈良市	51 歳
181	和歌山県出身の私が、大学を卒業し奈良県で教職に就き右も左もわからない時に高田高校でお世話になった先輩教員の、W先生、T先生、N先生、H先生本当にありがとうございました。先生方のご指導のおかげで充実した教員生活を送ることができました。今後とも末永いおつきあいをよろしくお願いします。	退職	61 歳
182	小学生の頃の恩師で、養護教諭の先生に、体調不良で保健室を来室した際に、よくがんばったねと言われたことが忘れられず、同じ職を目指しました。	川上村	25 歳
183	教員になりたてのときに、担任として子どもたちとどのように接して良いか分からなかった日々が続き、気持ちがしんどくなってしまったことがありました。そんな毎日が続き子供たちのことが嫌いになり距離をおくことが多くなりました。あるとき歳上の同僚の先生から「担任は子供を選ぶことはできるが、子供たちは担任を選ぶことができない」と言われ、自分の甘さに気づきました。そこからは自分が担任している子供たちと正面から向き合い、自分には何ができるのか、子供たちが何を求めているのか、常に考えながら学級運営ができるようになりました。その同僚の先生のおかげで今の私があります。また、新人の先生方の相談にも少しでもものれるように私もなりたいです。	安堵町	37 歳
184	先輩 自分が働き始めたときに授業や子どもとのこと、保護者との関係で悩んでいました。その時に声をかけてくださり、いろんなことを学ばせてもらいました。また、言葉だけでなく働く姿勢を見せてくださったので今の自分があると思います。	御所市	32 歳
185	めだかの学校 昨年、地域にお住まいの方からめだかをいただきました。たくさんのめだかをご自宅で育てておられ、めだかといえば「黒めだか」「ひめだか」ぐらいしか知らない私でしたが、さまざまな特徴のあるめだかがいることも教えていただきました。ところで、私が「めだか」と聞いて思い出すのが、お世話になった先輩の先生です。その先生の学級通信のタイトルが「めだか」だったからです。どうしてかという、その理由はみんながよく知っている童謡「めだかの学校」の歌詞にありました。？めだかの学校は川の中、そっとのぞいてみてごらん みんなでおゆうぎしているよ♪めだかの学校は川の中、だれが生徒か先生か みんなでげんきにあそんでる？「子どもたちと一緒にみんなで楽しく勉強し、みんなで元気に遊べるそんな学級にしたいなあ、そんな『めだかの学校』の先生になりたいなあ」とおっしゃっていて、クラスが変わっても、学校が変わっても、最後までタイトルの「めだか」は変わることはありませんでした。校長室のめだかを見ながら、本校も「めだかの学校」でありたいなと思っています。	大和郡 山市	59 歳
186	『子どものために』と口癖のようにいつも言って行動する先輩の先生を尊敬しています。口数は少ないですが、いつも行動で示してくれる校長先生から多くのことを学びました。	五條市	30 歳
187	「大木にならなくていい。竹になりなさい。竹のように柔軟に生きなさい。」 高校生の時に、担任から言われた言葉です。何でも吸収しようと、がむしゃらに、自分の信じるものを貫き通そうとする私に、声をかけてくださいました。自分で言うのもなんですが、頑張りすぎてしまうんです。 そして、それがうまくいかなかった時に、ポッキリと折れてしまいそうになるのです。でも、この言葉があったから、折れてしまわず、こうして生きています。きっと、そんな私をわかっていて、この言葉をくださったんだな、と思います。当時の担任に感謝です。	奈良市	32 歳
188	高校生の頃、当時の部活の顧問の先生が試合前になるとよく仰られた言葉があります。「不安は努力でしか消せない」。試合前の不安な気持ちに打ち克つために、日々練習を重ねて試合へ臨んでいました。	川上村	35 歳

189	小学校の同級生のお父さんが、スクールサポーターで行った学校の校長先生になっていた。教諭ではない立場で、学校現場の様子を見させてもらった。それから教諭となり、初任の時に郡内に向けてクラスの様子を発表する機会があった。その時、その校長先生が発表を聴きにに来てくださった。『今感じたことを大事に。子どもに片思いで。いつまでも寄り添う気持ちを大切にしてください。』と言葉をいただいた。今でもその言葉を忘れずに、子ども目線で寄り添えるよう心がけている。	天理市	29 歳
190	子ども通しのトラブルを上手く解決できず、おうちの方から連絡がありました。謝罪をしに、当時の先輩先生とそのお家に向かう中、言われたことが今も思い出すことがあります。誰でも失敗するときがある。その失敗をどんな風に過ごすかで、自分の力は変わっていく。起こってしまっただけで悩まず、その先、自分に何ができるか考えることが大切だ。と言われました。当たり前のことかもしれませんが、その言葉が、私の心を軽くしてくれました。自分が体験したことを、後輩が悩んでいる時には声をかけるようにしています。働く上で、周りの環境、人間関係はとても大切だと思いました。	生駒市	39 歳
191	前任校で出会ったすごくパワフルな先輩が私の心に残る先生です。年齢は50を過ぎ、自分の倍以上だったのですが、その若々しさにいつも驚かされました。子どもに寄り添い、親身に話を聞く一方で、指導の必要があればピリッと厳しい姿も見せ、授業力も抜群でいつも子どもたちはいきいきとした表情で学習していました。私は、仕事が終わるとクタクタになってしまっていたのですが、その先輩は遅くまで仕事した後、趣味の時間を大切にもしておられ、あふれ出るエネルギーは一体どこから湧いてくるのかと不思議にも思いました。まだまだ、その先輩の域に達する見込みはありませんが、ああいう先生になりたいなといつも心に残っています。	下北山村	35 歳
192	私の心に残る先生は、小学校5、6年を受け持って下さった担任の先生です。女性のその先生は、とても優しく、進学の相談や、勉強の話を丁寧に対応してくださいました。でも、心に残っているのは、みんなで騒ぎ過ぎて一列に並んで怒られた思い出です。今では考えられない、耳の下左右を手でバツチン！何をして怒られたのかも思い出せないけれど、みんなで優しい先生を本気で怒らせて、みんなで反省した事が、半世紀経った今でも覚えています。	奈良市	61 歳
193	専門学校の先生から「一期一会」と言う座右の銘をいただいた。以来、人とのご縁を大切にしています。	大和郡山市	41 歳
194	初めての勤務校でかなり年上の先輩の先生がいました。いつも厳しいことを言ってくれていました。年を重ね、自分が先輩として後輩に物事を伝える時に、躊躇してしまうことがよくあります。人に忠告するということは責任や、相手を信じる心が必要だと感じました。過去の自分にアドバイスや忠告をしてくれた先輩方に心から感謝したいと思う出来事でした。そして今、愛情を持って後輩に指導しています。いつか、その後輩が次の後輩にまた愛情を持って指導してくれたらと思います。そうやって好意的な感情でつながっていけたら幸せな社会になると思います。	御所市	37 歳
195	小学校6年の担任の先生が、休みごとにスポーツやキャンプにと連れまわしてくださいました。今の時代では考えられないような事ですが、自分が教員を志すきっかけになったことは確かです。	退職	61 歳
196	中学校1年生の時、懇談で「あんたは先生になりなさい！」と言われ、気づけば教職に就いていました。	上牧町	31 歳
197	清掃草刈りの奉仕作業で自分の時間を割いてまで作業する先輩の姿	野迫川村	54 歳
198	現役時代お世話になり、退職後も教弘でお会いしたときに変わらぬ笑顔で接していただき感謝しています！	宇陀市	53 歳
199	転勤して地元の学校に戻してもらって、三人目の校長先生のことです。その当時、学校が荒れており私は生徒指導主事をさせて頂き、校長先生は、自分のやりたいようにやりなさいと言って頂き、もし失敗しても気にするな！責任は、私(校長)が取ると言って頂き、大変ありがたく思い存分やらせてもらったことです。いろんなことがありましたが、校長まで行くことは、ありませんでしたが気持ちに余裕ができて、ありがたかったです。それからの教師生活に役にたち、何事も失敗を恐れず突き進むことができました。	退職	60 歳

200	私が、自分の母校の中学校に転勤した時のことです。そこには、私の中学3年生の時の担任のT先生が教頭としていました。私は中学3年生の時、友達関係で学校に行くのがいやになり、何日か休んでしまいました。T先生は、そんな時、毎日話を聞いてくれ、クラスでそのことで学活も持ってくれ力になってくれました。調度、転勤した年に結婚することになり、T先生に来てもらいました。T先生は謡曲をされていて、結婚式で素晴らしい高砂を謡ってくれ、感動しました。
201	憧れの同僚の先生がいる。その先生は今年で定年。毎日子どもと真っ向から向き合い、寄り添い、時には叱り飛ばし、目の前の子どものためにを全力で。わたしもそんな先生のようないつまでも真っ直ぐな先生でありたい。

奈良市 58 歳

広陵町 33 歳